



行け行け！追い越せ！

市輝け！小さなアスリート 市内小学校で体育祭

5月25日、三角、青海、松橋、豊福、海東、小野部田、小川、河江小学校で体育祭が行われました。

汗ばむ陽気のなか、三角小学校では徒競走、大玉ころがしやダンスのほか、組对抗戦の花形競技である応援合戦、リレーが行われ、それぞれの競技で熱戦が繰り広げられました。

5、6年生合同で行われた組体操では、「気持ちを一つに」をテーマに美しく統制のとれた演技を披露。これまでの練習の成果を力いっぱい発揮しました。

曲マコモタケ 豊野小学校で植え付け体験

5月23日、豊野町糸石の水田で豊野小学校（吉永公力校長）の3年生39人が、マコモタケの植え付け体験を行いました。

このマコモタケは、イネ科の多年草のマコモの若い茎が肥大化したもので、タケノコのような食感とほのかな甘味が特長です。その淡白な味はさまざまな料理に合い、中華料理店などで高級食材として利用されています。

豊野町では米の転作作物として平成14年度から栽培され、町を代表する特産品となっています。この日、マコモタケの植え方の説明を受けた児童たちは、水着姿で歓声を上げながら水田へ。泥まみれになりながら、30アールの水田にマコモタケの苗を植えつけました。



秋の収穫後には調理し、アグリパーク豊野で販売する予定です

宇バンクーバーサマーキャンプへ 宇城市の子どもたちが参加



楽しんで勉強してきます！

7月26日～8月8日の14日間の日程でカナダ・バンクーバーでのホームステイ5日間とウィスラー（2010年冬季オリンピック開催地）でのサマーキャンプ8日間に、宇城市在住の子どもたち7人（小学3年生1人、小学6年生4人、高校1年生2人）が参加します。（グッドタイム主催）

ウィスラーのサマーキャンプは、毎年世界中から参加する有名なキャンプで、昨年は世界33カ国の子どもたちが参加しました。バンクーバーでのホームステイは、来年の夏宇城市にやって来る、カナダの子どもたちの家族と過ごします。

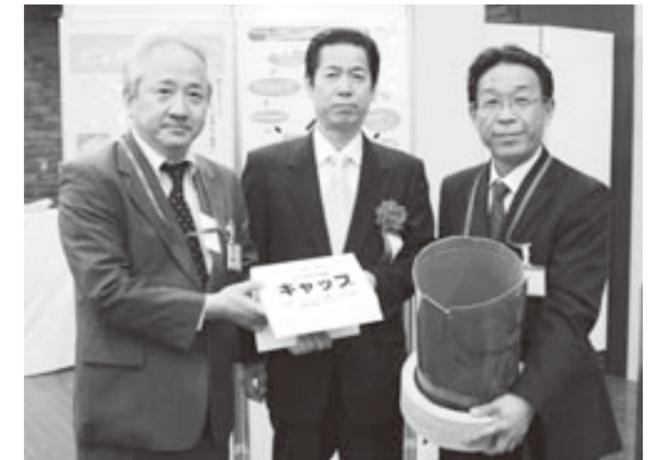
カナダでの家庭生活を味わえる貴重な体験に、子どもたちも今からドキドキわくわくしているようです。

世界の子どもたちにワクチンを！ ペットボトルのキャップを回収

5月21日、株式会社イオンモール宇城バリュー（宇城市小川町）は、分別収集でペットボトルのキャップを回収するための表示板約250枚を宇城市に寄贈しました。

また、イオンモール宇城バリューの資金提供・株式会社アースマテリアル（熊本市）の技術提供を受けて、県立松橋西養護学校の生徒が作る陶器製の回収容器も、今後市内の回収会場で配布される予定です。

このペットボトルのキャップは、同社の協力により、益金が東京のNPO法人を通じて、途上国の子どもたちのワクチン購入費として役立てられる仕組み。今年4月からは、すでに回収されていたペットボトルに加えてキャップも市内全225カ所の分別収集会場で回収されています。



表示板と回収容器を持つ中村宏人イオンモール宇城バリュー・ゼネラルマネージャー（右）と吉松健一ジャスコ小川店長（左）

500人が参列して追悼式 戦没者を悼み平和を誓う



平和の誓いを新たに

忌まわしい先の大戦で犠牲になった戦没者を追悼して、世界の平和を誓う「宇城市戦没者追悼式」が5月17日、ウイングまつばせ文化ホールで行われ、遺族など500人が参列しました。

追悼式では最初に参列者全員で黙とうを捧げた後、井上明喜会長（宇城市遺族会）が「命の尊さ、平和の大切さを後世に伝えて二度と悲惨な戦争を起こさないようにすることが私たちの責務です」と追悼の言葉を述べました。

ステージに設けられた慰霊塔に遺族の代表などが白菊を献花して平和への誓いを新たにしました。

二角小にバックネットの寄贈 ありがとうございました

三角小学校のソフトボールコートに、三角町の池田胃腸科内科院長、池田和隆様から、バックネットの寄贈がありました。

現在、三角小学校のソフトボール部は41人で活動中。昨年8月には全日本小学生男子ソフトボール大会（全国大会）に出場し、今年3月にも春季全日本小学生男子ソフトボール大会春（全国大会）に出場しています。今後、寄贈していただいたバックネットを十分に活用し、更なる上位進出を目指します。

その外、学校図書充実と体育の振興に役立てて欲しいと、宇城家庭倫理の会と三角町の田端誠四郎様外市民の方々より多くの寄付がありました。ありがとうございました。（学校教育課）



立派なバックネットに子どもたちの練習にも力が入ります